

# わがまち この1年

大樹町 伏見悦夫町長



教育環境の整備を進め、大樹小の新校舎が3学期から供用を開始。大樹中では耐震補強工事を実施した。インターハイや水ロケットコンテスト全国大会の出場など、子供たちの活躍も目立った。一方、少子化が進み、77年の歴史ある石坂小が閉校した。地域の核である学校がな

## 宇宙のまちづくり前進

## 寂しい石坂小学校閉校



くなることは、誠に寂しい限り。統合先でしっかりとした教育環境を整えたい。宇宙のまちづくりも前進した。独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が大気球を使った宇宙科学実験を始め、成果を上げた。防衛省のエンジン試験も一通り行われ、CAMUIロケットは実用化のめどが立った。

農業は、異常気象に伴い対策本部を設置したが、大きな被害に至らず安堵(あんど)した。漁業では、大樹漁協が大樹ブランドを確立しようとして、浜大樹で加工施設の操業を始めた。交通死亡事故のゼロ記録が1756日継続していたが、残念なことに、4月2日に尊い町民の命が失われた。亡く

医師を確保でき、安心して子育てせうだ。来年は国の「子ども農山漁村交流プロジェクト」で、魅力あるプログラム作りと人口を進めていきたい。さらに、JAXA宇宙科学研究本部の施設がある4市1町で構成する「銀河連邦」に加盟し、物産や文化、子供の交流で活性化を図っていく。

科学観測が本格化したJAXAの大気球実験(8月) なられた方は目まぐるから通学児童を見守り、人一倍交通事故の根絶を願っていただけに悔しさも大きい。 町立国保病院では医師が相次いで抜ける事態。大変苦慮したものの、一定数の